

結納の形式・口上と進め方

◎仲人なし両家が女性宅に会して行う場合 正式結納編

最近では結納式に仲人を立てない場合が増えています。
そのため、女性宅やホテルでの結納は、両家揃って行われます。

玄関先での挨拶

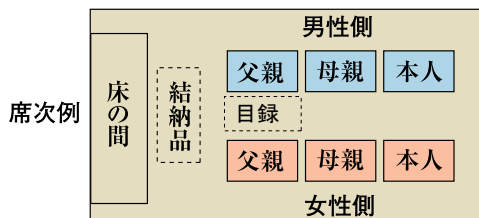
男性側の到着(女性宅)
女性側が揃って出迎えます。

お部屋へ入室

結納を飾る

結納品を男性側が飾る
※受書を男性側が用意してくる場合は前もって渡しておく。

結納式開始



目録はへぎの上に乗せて置いて下さい。
広蓋、ふくさをお持ちの場合、結納読本P15をご覧ください。
広蓋、ふくさをご使用になられると、より丁寧な作法になります。

男性の父親

「本日はお日柄もよろしく、婚約のしるしに結納の品々を持参いたしました。
幾久しくお納めください。」と述べます。

※へぎに目録を乗せたものを、口上を述べるとともに女性側へ差し出してください。

女性の父親

「ありがとうございます。幾久しくお受けします。」と受け取ります。

※受書がある場合は、「受書でございます。お納めください。」と述べ、男性側に渡します。

※結納返しセットがある場合は、「結納返し品の品です。幾久しくお納めください。」と述べ、男性側に渡します。

※受書、結納返し両方ある場合は、①受書の受け渡し、②結納返しの受け渡しの順番で行ってください。

男性の父親

※受書がある場合は「拝見します。」と述べて受け取り、受書を確認します。「お受け取りいただき、
ありがとうございました。」と挨拶します。

※結納返しがある場合は「ありがとうございます。幾久しくお受けします。」と受け取ります。

受書、結納返しが無い場合は、このステップはとばしてください。

男性の父親

「婚約が整い、ありがとうございます。今後共どうぞ、よろしくお願いします。」
と挨拶を述べます。

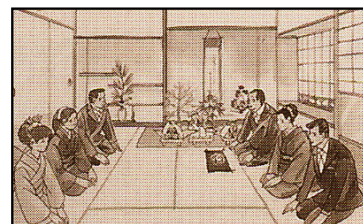
※この後、両家が簡単な挨拶を交わしたり、二人がお礼の挨拶をするのも良いでしょう。

歓 談

桜湯やお千菓子などで歓談し、頃合いを見計らってお祝膳を出します。

会 食

女性の父親が「行き届きませんが、二人の
婚約を祝って乾杯したいと思います。」
などと音頭をとって会食に誘います。



あくまで進行の一例ですが、ご参考になれば幸いです。
ホテルやレストランで結納式を行われる場合も、基本的には同じ流れで行ってください。
結納式プランなどで司会者が付く場合は、司会者の進行どおり進めてください。
すばらしい結納式になるよう、お祈りいたしております。